

近代スペイン音楽におけるピアノ作品の変遷と発展

～ヘスス・グリーディを中心に～

大阪芸術大学短期大学部 通信教育部保育学科 特任講師 紺谷志野

本研究は、近代スペイン音楽のピアノ作品の変遷をグリーディ (Guridi, Jesús 1886 - 1961) を中心に、グリーディと関連する作曲家の作品や事象と共に考察する事を目的とする。

グリーディは 20 世紀前半のスペイン音楽を代表する作曲家の 1 人であるが、現在の日本においては特にピアノ曲は演奏される機会が少ない作曲家である。

近代スペイン音楽を代表する作曲家として、先ずはアルベニス (Albéniz, Isaac 1860 - 1909)、グラナドス (Granados, Enrique 1867 - 1916)、ファリャ (Falla, Manuel de 1876 - 1946) の 3 人が挙げられる。ファリャは 2026 年に生誕 150 年、没後 80 年という記念の年を迎える作曲家である。アルベニス、グラナドスの 2 人は 1900 年代前半に亡くなったが、ファリャは第二次世界大戦後の 1946 年に亡くなるまで、スペイン国内の状況が目まぐるしく変化する時代を生き、「真にスペイン的な音楽」を目指し多くの作品を残した。その作品や人生はグリーディや後年のスペイン人作曲家の模範となった。

ファリャと親交が深く、同時期にフランスのパリで学んだトゥリーナ (Turina, Joaquín 1882 - 1949) を筆頭に、インファンテ (Infante, Manuel 1883 - 1958)、エスプラ (Esplá, Óscar 1886 - 1976)、グリーディなどの 1880 年代生まれの作曲家は、スペインの音楽評論家ヴァリュス (Valls, Manuel 1920 - 1984) によって「巨匠の世代」と名付けられている。

その流れは 1890 年代生まれ以降のモンポウ (Mompou, Federico 1893 - 1987)、ロドリゴ (Rodrigo, Joaquín 1901 - 1999) や、「スペイン 8 人組」のロドルフォ・アルフテル (Halffter, Rodolfo 1900 - 1987)、エルネスト・アルフテル (Halffter, Ernesto 1905 - 1989) の兄弟、バカリッセ (Bacarisse, Salvador 1898 - 1963)、バウティスタ (Bautista, Julián 1901 - 1961)、ピットルーガ (Pittaluga, Gustavo 1906 - 1975)、マンテコン (Mantecón, Juan José 1895 - 1964)、アスコート (Ascot, Rosa García 1902 - 2002)、レマーチャ (Remacha, Fernando 1898 - 1984) の 1930 年代の活躍へと続くこととなる。

グリーディの作品における音楽的特徴としては、バスク地方の出身であることが挙げられる。アルベニスとグラナドスはカタルーニャ地方、ファリャはアンダルシア地方の出身であり、スペインのそれぞれの地域における伝統や民俗音楽といった文化的背景が、作曲家によって異なっている。

フランスとスペインにまたがるバスク地方のアラバ県に生まれたグリーディは、音楽家の家系

の両親のもとで芸術家達に囲まれた幼少期を過ごした。両親から音楽の手ほどきを受け、幼い頃より音楽的才能を発揮した。やがて成長したグリーディは、支援を受けてパリに留学しスコラ・カントルムに入学した。当時楽長であったヴァンサン・ダンディ (Vincent d'Indy, Paul Marie Théodore 1851 - 1931) に対位法やフーガを、セリユー (Sérierx, Auguste 1865 - 1949) に作曲の指導を受けた他、ピアノやオルガンも学んだ。ダンディはスコラ・カントルム創立者の一人であり、学生達に多様な時代、多様な地域の作曲家の作品を学ぶことを課していた。グリーディがスコラ・カントルムで学んだことは、自身のルーツであるスペインのバスク地方の音楽を、後の作品に活かすための学びの期間であったと言える。

グリーディはピアノ以外にオルガン、声楽、オペラ、管弦楽など様々な作品を残している。本研究においては主にピアノ作品を中心に取り上げ考察する。

本研究を進めるにあたり、グリーディの作品について本学の図書館蔵書を確認したところ、楽譜ではスペインピアノ作品集『Piano music of Spain』の中にグリーディの作品が 1 曲掲載されているのみであった。グリーディのピアノ作品を中心に、楽譜や書籍を蒐集し蔵書を増やすことで、本学で音楽を学ぶ学生にもスペイン音楽への興味関心を広げる機会となることを願っている。